

様式第2号の1－②

【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 久留米自動車工科大学校
設置者名	学校法人 久留米工業大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業 専門課程	一級自動車工学科	夜・通信	実習4年間合計 741時間	320時間	
	二級自動車工学科	夜・通信	実習2年間合計 414時間	160時間	
	車体整備工学科	夜・通信	実習3年間合計 536時間	240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>学校ホームページにおいて、高等教育就学支援新制度に係る機関要件の確認申請書の添付資料として「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表」を公表。 URL (https://www.kic-car.ac.jp/school/guide/disclosure)</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2－①

【(2)－①学外者である理事の複数配置】

※設置者が学校法人又は準学校法人の場合のみ

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 久留米自動車工科大学校
設置者名	学校法人 久留米工業大学

1. 理事(役員)名簿の公表方法

学校法人 久留米工業大学ホームページに、「法人概要」の項目に「役員一覧」を設定し役員名簿を公表している。URL (http://kougyoudaigaku.jp/corporate/officer.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	久留米市長(現職)	平成30年3月14日 ～ 令和4年3月13日	組織運営体制及び教育事業活動に係る指導・助言機能
非常勤	弁護士(現職)	平成27年12月20日 ～ 令和元年12月19日	教育事業に係る法務を中心とする視点からの指導・助言機能
(備考)			

様式第2号の3

【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 久留米自動車工科大学校
設置者名	学校法人 久留米工業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画書(シラバス)は、「教育科目別時間配分表」(専門学校久留米自動車工科大学校学則第7条)に定める全教育科目について、授業において学ぶ内容、到達目標、評価基準・評価方法等の事項について記載することとしている。</p> <p>シラバスは、教育科目を担当する主たる教員が、授業実施年度の前年の11月中旬までに作成する。当該作成したシラバスは、本校の教務課及び次長・校長により全体的な調整・決定を、授業実施年度の前年の12月中旬までに行う。調整・決定したシラバスは、翌年2月に開催する本校教員及び企業選任委員より構成する教育課程編成委員会(専門学校久留米自動車工科大学校履修規則第17条)に提案し、シラバスに関する意見等を聴取したうえで、必要に応じて修正し最終的なシラバスとする。</p> <p>シラバスは、一級自動車整備工学科、二級自動車工学科、車体整備工学科の全てについて同様の取扱いにより作成している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>授業計画の公表は、インターネットの本校ホームページにより公表している。</p> <p>URL(https://www.kic-car.ac.jp/school/guide/disclosure)</p>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>教育課程及び授業時数は、学科ごとに「教育科目」「教育内容」「教育時間数」を定めている。また、授業時数の1単位時間は50分としている。</p> <p>授業履修にあたっては、授業ごとに学生個人別出欠席を調査記録している。</p> <p>また、課程修了の認定は、第一に、授業出席時間数が、学校が定める時間数を満たしていること。第二に、学年末において、各学期末に行う学科試験、実習のサイクルごとに実施する試験、実習レポートの評価並びに実習時の出席状況を総合評価し他実習点数、学科及び実習のいずれも60点以上の成績を有していること。以上の二つの要件を、学科に配分された全教育科目満たしている場合、判定会議において審議の上、校長は課程修了の認定を行っている。</p> <p>学修成果の厳格かつ適正な評価は、一級自動車整備工学科、二級自動車工学科、車体整備工学科の全てについて同様の取扱いをしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価における客観的な指標は、学科については、前期及び後期に行う期末試験の平均点数が 60 点以上であること。併せて、出席が必要とされる授業時間数出席していること。実習は、各実習サイクル後に行う試験、レポート提出、出席状況を評価した点数を、それぞれ 6 割、3 割、1 割の構成割合で評価した点数が 60 点以上であること。併せて、出席が必要とされる授業時間数出席していることとしている。</p> <p>成績の分布状況は、学科ごとに定められた全教育科目について、履修者の学科の期末試験の点数、実習の評価点数に基づき、当該点数を合計し平均化した点数により、順列を決定した分布状況を把握している。</p> <p>成績評価の客観的な指標の設定等は、一級自動車整備工学科、二級自動車工学科、車体整備工学科の全てについて同様の取扱いをしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>客観的な指標の算出方法の公表は、インターネットの本校ホームページにより公表している。 URL (https://www.kic-car.ac.jp/school/guide/disclosure)</p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校の卒業認定に関する方針は、学則及び履修規則に定めている。卒業の認定については、期末試験の点数等客観的な成績評価に基づき、学則第6章に定めており、学科については、前期及び後期に行う期末試験の平均点数が60点以上であること。併せて、出席が必要とされる授業時間数出席していること。実習は、各実習サイクル後に行う試験、レポート提出、出席状況を評価した点数を、それぞれ6割、3割、1割の構成割合で評価した点数が60点以上であること。併せて、出席が必要とされる授業時間数出席していることとしている。以上のことを踏まえ、各学科に配分された全教育科目の履修確認をした上で、校長が課程を修了したと認めた者には、卒業・修了証書を授与する。

なお、学則は、インターネットの本校ホームページにより公表している。

URL (http://www.kic-car.ac.jp/theme/kic_school/dl/guide/schoolregulations.pdf)

また、卒業に関する方針(ディプロマポリシー)を次のとおりとしている。

(ディプロマポリシー)

全学科に共通するものとして、第一に、自動車整備士として学科ごとに定められた専門的な知識・技能を有すること、第二に、社会を構成する一員として、プロフェッショナル意識と倫理観を持ち、社会生活に重要な能力(例えばコミュニケーション能力等)を有すること、第三に、自らが学習や実習等に主体的に取り組む、社会人、職業人として主体者意識を有することを、共通の身に付けるべき力とする。各学科の個別的に身に付ける力は、次のとおりとする。

(1) 二級自動車工学科

自動車の一般的な整備ができる力が身に付くことを到達目標に、国土交通省が指定する一種養成施設として、二級自動車整備士の養成課程に必要とされる教育計画に基づき、本校が定める二級自動車工学科の学科及び実習に係るカリキュラム受講が必要である。必要な授業等受講後、個々の授業科目の成績評価において、期末試験、実習の成果、履修状況を総合的に評価する。そのうえで、課程カリキュラムの全授業科目の成績評価を総合的に評価し、課程修了の認定を行う。

所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めるものは卒業を認定し、専門士(工業専門課程)の称号を付与する。

(2) 車体整備工学科

一般的な自動車整備に加えて、車枠及び車体専門の整備技術ができる力が身に付くことを到達目標に、国土交通省が指定する一種養成施設として、二級自動車整備士の養成課程及び車体整備士の養成課程に必要とされる教育計画に基づき、本校が定める車体整備工学科の学科及び実習に係るカリキュラム受講が必要である。必要な授業等受講後、個々の授業科目の成績評価において、期末試験、実習の成果、履修状況を総合的に評価する。そのうえで、課程カリキュラムの全授業科目の成績評価を総合的に評価し、課程修了の認定を行う。

所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めるものは卒業を認定し、専門士(工業専門課程)の称号を付与する。

(3) 一級自動車工学科

二級自動車整備士より高度な自動車整備ができる力が身に付くことを到達目標に、国土交通省が指定する一種養成施設として、一級自動車整備士の養成課程に必要とされている教育計画に基づき、本校が定める一級自動車工学科の学科及び実習に係るカリキュラムの受講が

<p>必要である。必要な授業等受講後、個々の授業科目の成績評価において、期末試験、実習の成果、履修状況を総合的に評価する。そのうえで、課程カリキュラムの全授業科目の成績評価を総合的に評価し、課程修了の認定を行う。</p> <p>2年から3年への進級にあたっては、二級ガソリン及び二級ジーゼル自動車整備士の資格について、自動車整備士技能検定に規定する全部免除者となる要件を満たす者で、かつ、3年進級6か月以内に合格証書の交付を受けられる者であることが必要である。</p> <p>所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めるものは卒業を認定し、高度専門士(工業専門課程)の称号を付与する。</p> <p>卒業の認定は、一級自動車工学科、二級自動車工学科、車体整備工学科の全てについて同様の取扱いをしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>卒業認定に関しては、履修要件をシラバスに記載し、本校ホームページに公表している。また、学則を同様にホームページに公表している。</p> <p>URL (https://www.kic-car.ac.jp/school/guide/disclosure)</p> <p>ディプロマポリシーは2019年度にホームページにおいて公表を予定。</p>

様式第2号の4－②
【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 久留米自動車工科大学校
設置者名	学校法人 久留米工業大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人 久留米工業大学ホームページ URL (http://kougyoudaigaku.jp/information/budget/infoid/1/)
収支計算書又は損益計算書	学校法人 久留米工業大学ホームページ URL (http://kougyoudaigaku.jp/information/budget/infoid/1/)
財産目録	学校法人 久留米工業大学ホームページ URL (http://kougyoudaigaku.jp/information/budget/infoid/1/)
事業報告書	学校法人 久留米工業大学ホームページ URL (http://kougyoudaigaku.jp/information/report/infoid/18/)
監事による監査報告(書)	学校法人 久留米工業大学ホームページ URL (http://kougyoudaigaku.jp/information/report/infoid/18/)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(一級自動車工学科)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	一級自動車工学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4314 単位時間/単位	1243		3071		
			単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			4314 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		44人	0人	13人	2人	15人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業方法及び授業内容及び年間授業計画は、ホームページに公表しているシラバスに記載し公表している。 カリキュラム内容は、国土交通省が指定する一種養成施設として、それぞれが所属する学科において、一級自動車整備士、車体整備士、及び二級自動車整備士の養成課程に必要とされている教育計画に基づき、本校が定める学科及び実習に係るカリキュラムを編成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、学科については期末試験の平均点が60点以上を合格とし、実習については、期末試験、出席状況、レポートの学習状況を評価して、60点以上の場合合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 成績評価の基準および方法は、各学科において必要出席時間数を満たすこと、期末試験において合格基準としている60点の評価を全科目取得できること。 一級自動車工学科2年から3年進級においては、二級ガソリン及び二級ジーゼル自動車整備士の試験に合格し、かつ3年進級6か月以内に合格証賞を受けられる者であることを要件とする。
学修支援等

(概要) 生徒の学修において支援を要する事項、疑問事項、指導を要する事項等は、個別に担当教員と打合せできるよう、学修科目ごとの担当教員の連絡方法をシラバスに記載している。			
卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
一級自動車工学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (%)	8人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 国産車及び輸入車自動車販売業者			
(就職指導内容) 国産車メーカーごとの企業ガイダンスの開催や、募集情報などの情報提供。社員募集にあたっての履歴書の書き方や面接などの指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 自動車整備技能登録試験一級小型自動車学科(学科及び口述)に全員合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	1人	2.5%
(中途退学の主な理由) ・3年生進級後に経済的な理由により、就職へと進路を変更したため		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・校外居住先の生活に関してクラス担任による生徒訪問指導 ・保護者との連携による生徒指導 ・1年生の実習授業参観及び生徒・保護者・担任の三者面談 ・月2回の定例的なスクールカウンセリングの実施		

(車体整備工学科)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	車体整備工学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3205 単位時間/単位	1104		2101		
			単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3205 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	65人	0人	13人	2人	15人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

授業方法及び授業内容及び年間授業計画は、ホームページに公表しているシラバスに記載し公表している。

カリキュラム内容は、国土交通省が指定する一種養成施設として、それぞれが所属する学科において、一級自動車整備士、車体整備士、及び二級自動車整備士の養成課程に必要とされている教育計画に基づき、本校が定める学科及び実習に係るカリキュラムを編成している。

成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価は、学科については期末試験の平均点が60点以上を合格とし、実習については、期末試験、出席状況、レポートの学習状況を評価して、60点以上の場合合格とする。

卒業・進級の認定基準

(概要)

成績評価の基準および方法は、各学科において必要出席時間数を満たすこと、期末試験において合格基準としている60点の評価を全科目取得できること。

学修支援等

(概要)

生徒の学修において支援を要する事項、疑問事項、指導を要する事項等は、個別に担当教員と打合せできるよう、学修科目ごとの担当教員の連絡方法をシラバスに記載している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
車体整備工学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (%)	25人 (96.2%)	1人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 国産車及び輸入車自動車販売業者、自動車板金業者			
(就職指導内容) 国産車メーカーごとの企業ガイダンスの開催や、募集情報などの情報提供。社員募集にあたっての履歴書の書き方や面接などの指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 自動車整備技能登録試験自動車車体(学科)に26人中25人合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
平成30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
65人	2人	3.1%
(中途退学の主な理由) <ul style="list-style-type: none"> ・成績が不良なため ・家庭の経済が厳しくなったために、就職に進路を変更したため 		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・校外居住先の生活に関してクラス担任による生徒訪問指導 ・保護者との連携による生徒指導 ・1年生の実習授業参観及び生徒・保護者・担任の三者面談 ・月2回の定例的なスクールカウンセリングの実施 		

(二級自動車工学科)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	二級自動車工学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2191 単位時間/単位	822 単位時間/単位		1369 単位時間/単位		
			2191 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		81人	0人	13人	2人	15人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業方法及び授業内容及び年間授業計画は、ホームページに公表しているシラバスに記載し公表している。 カリキュラム内容は、国土交通省が指定する一種養成施設として、それぞれが所属する学科において、一級自動車整備士、車体整備士、及び二級自動車整備士の養成課程に必要とされている教育計画に基づき、本校が定める学科及び実習に係るカリキュラムを編成している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、学科については期末試験の平均点が60点以上を合格とし、実習については、期末試験、出席状況、レポートの学習状況を評価して、60点以上の場合は合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 成績評価の基準および方法は、各学科において必要出席時間数を満たすこと、期末試験において合格基準としている60点の評価を全科目取得できること。
学修支援等
(概要) 生徒の学修において支援を要する事項、疑問事項、指導を要する事項等は、個別に担当教員と打合せできるよう、学修科目ごとの担当教員の連絡方法をシラバスに記載している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
二級自動車工学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	8人 (19.5%)	33人 (80.5%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 国産車及び輸入車自動車販売業者			
(就職指導内容) 国産車メーカーごとの企業ガイダンスの開催や、募集情報などの情報提供。社員募集にあたっての履歴書の書き方や面接などの指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 自動車整備技能登録試験二級ガソリン自動車(学科)に41人中38人合格 自動車整備技能登録試験二級ジーゼル自動車(学科)に41人中38人合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
平成30年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	7人	8.5%
(中途退学の主な理由) <ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望進路ではないことが、入学後の学修の中で判明したため ・成績が不良なため ・家庭の経済が厳しくなったために、就職に進路を変更したため 		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・校外居住先の生活に関してクラス担任による生徒訪問指導 ・保護者との連携による生徒指導 ・1年生の実習授業参観及び生徒・保護者・担任の三者面談 ・月2回の定例的なスクールカウンセリングの実施 		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
一級自動車工学科	100,000 円	500,000 円	380,000 円	・実験実習費 ・施設費
車体整備工学科	100,000 円	500,000 円	380,000 円	・実験実習費 ・施設費
二級自動車工学科	100,000 円	500,000 円	380,000 円	・実験実習費 ・施設費
修学支援(任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・学力特待生度 ・離島入学支援制度 ・既卒者入学支援制度 ・県外生学生寮費サポート制度(男子学生) ・資格取得奨励金制度 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにおいて公表。職業実践専門課程情報公開の項目に「自己点検評価」及び「学校関係者評価」を公表している。 URL (https://www.kic-car.ac.jp/school/jissen/)		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校関係者評価は、教育事業に関し、在籍学生の保護者、卒業生、産業界や専門課程に関連がある高校の教育者からの多様な視点のもとに、自己点検評価の正当性を確保するための審議を中心に実施している。また、資格試験の状況や学校事業計画、就職状況等を報告し、それらの事項に対する意見等を聴取し、学校運営に活用している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(一社)福岡県自動車整備振興会	平成 30 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日	産業界委員
祐誠高校教員(自動車科)	平成 30 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日	教育に関し知見を有する者
卒業生代表(学校同窓会会長)	平成 30 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日	卒業生代表者
保護者代表(後援会会長)	平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日	後援会代表者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページの職業実践専門課程情報公開の項目において公表している。 URL (https://www.kic-car.ac.jp/school/jissen/)		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

URL <http://www.kic-car.ac.jp>

刊行物としては、学校紹介の冊子を毎年度作成し、資料請求者等に配布している。また、当校に入学した生徒が卒業した高校等に、資料として配布している。